



病床確保フェーズ・レベル の引上げについて

健康医療局
令和4年7月13日

「病床確保フェーズ」の引き上げ

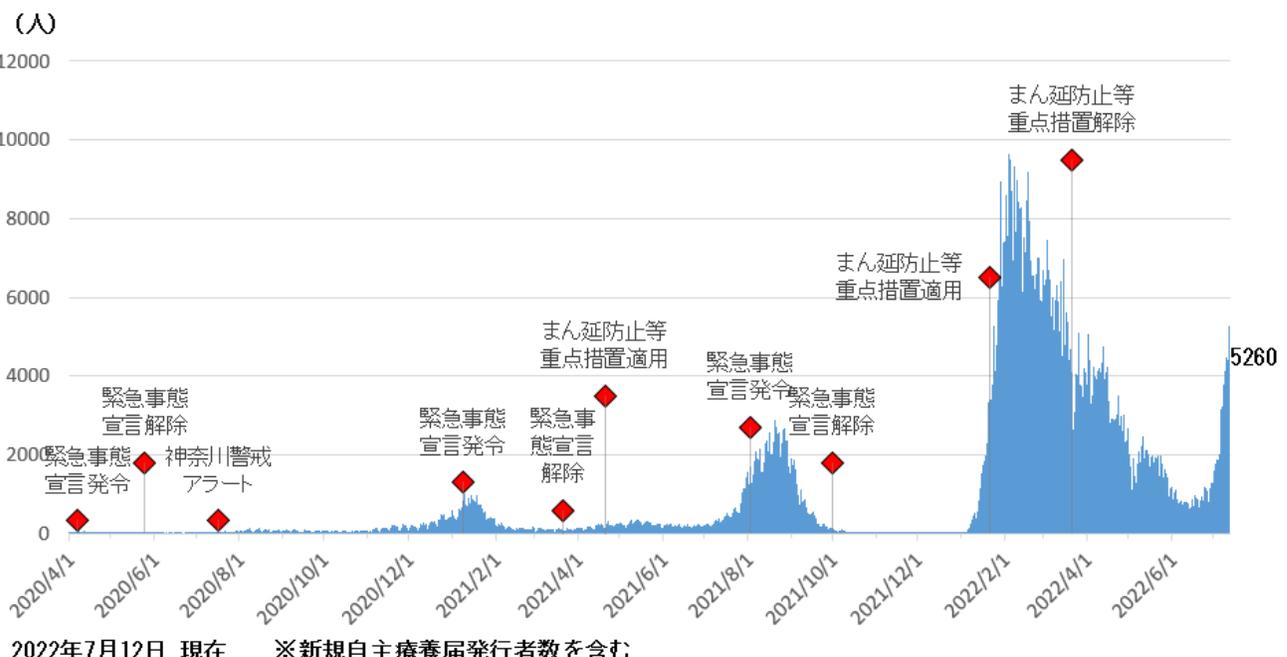
- **中等症・軽症**の入院患者に増加傾向が見られることを踏まえ、**中等症・軽症の病床確保フェーズを「1」から「3」に引き上げる。**（重症患者は増加傾向にないため、「1」のまま。）

確保病床	重症	100床	→	100床	(増減なし)
	中等症・軽症	900床	→	1,540床	(+640床)
	計	1,000床	→	1,640床	(+640床)

「レベル」の引き上げ

- 病床確保フェーズの引き上げに連動して、**レベルを「1」から「2」に引き上げる。**

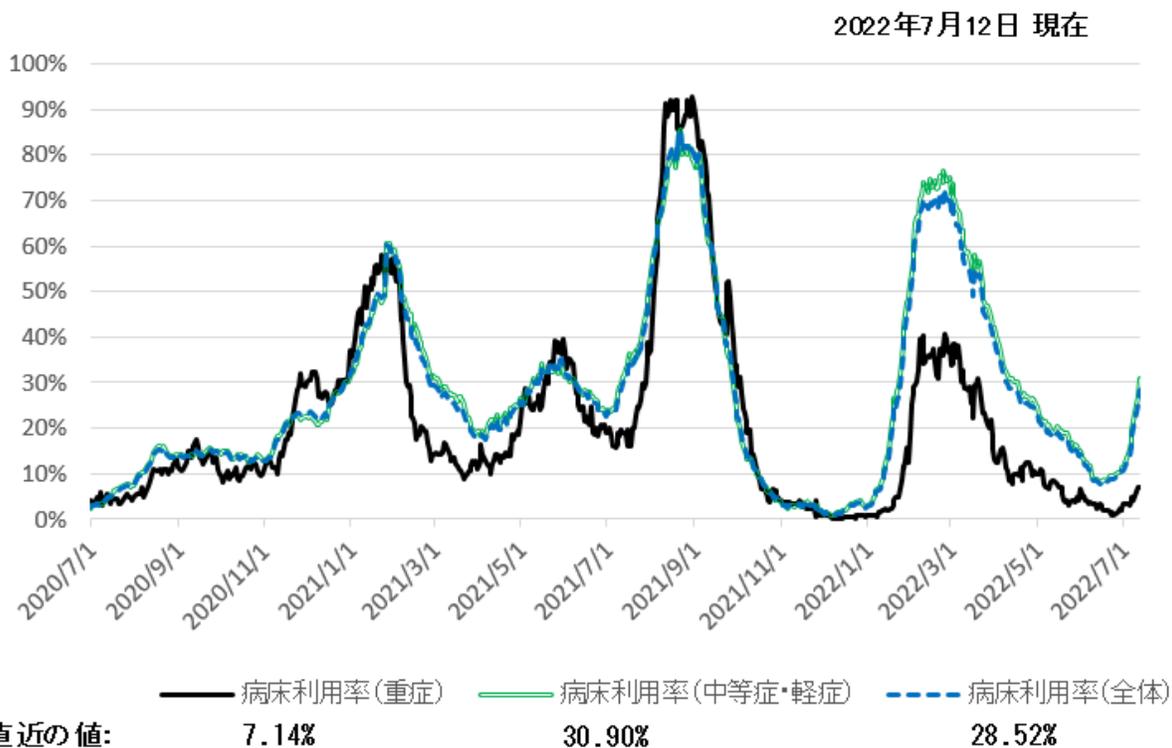
新規感染者（新規自主療養届発行者数を含む）の推移（実数・日別）



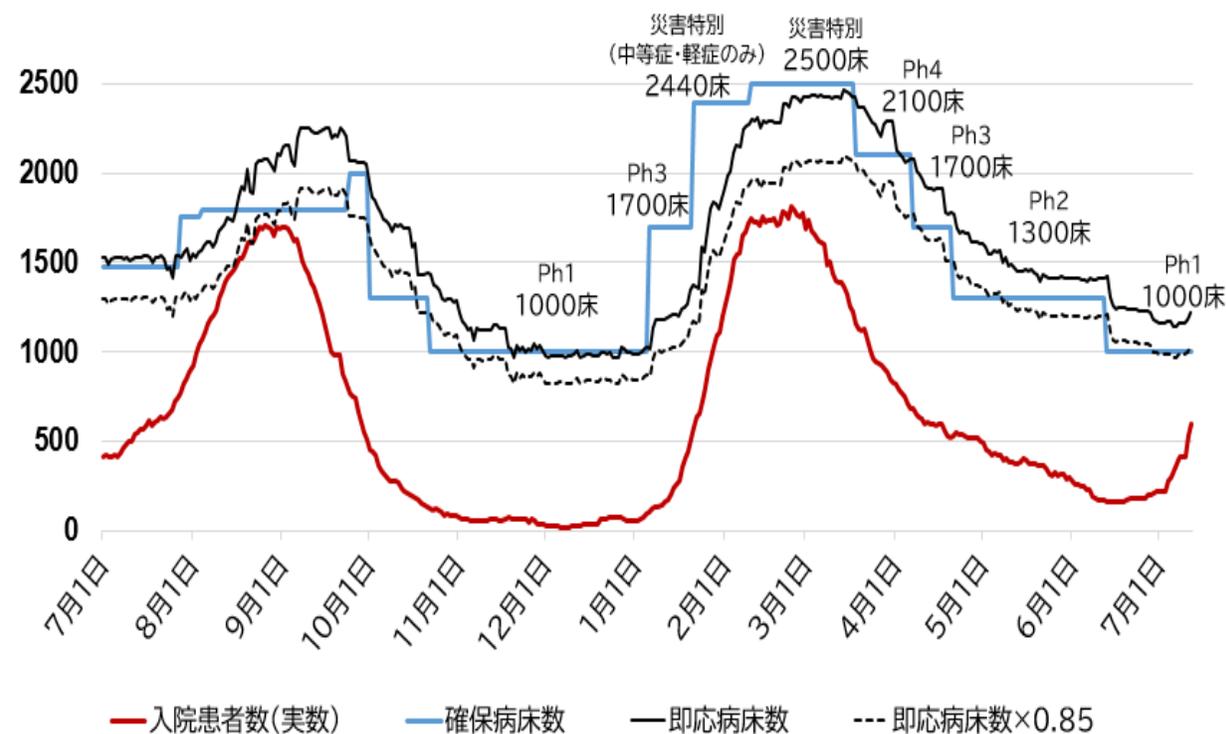
	日	月	火	水	木	金	土	
5月	15	16	17	18	19	20	21	週合計
	2013人	1700人	1962人	1987人	1798人	1934人	1905人	13299人
	22	23	24	25	26	27	28	週合計
5月	1977人	1474人	1994人	1775人	1411人	1632人	1512人	11775人
	29	30	31	6/1	2	3	4	週合計
	1410人	940人	1156人	1183人	860人	1059人	1117人	7725人
6月	5	6	7	8	9	10	11	週合計
	875人	772人	793人	851人	728人	811人	797人	5627人
	12	13	14	15	16	17	18	週合計
6月	752人	617人	678人	856人	689人	961人	919人	5472人
	19	20	21	22	23	24	25	週合計
	878人	659人	846人	949人	843人	1171人	1147人	6493人
6月	26	27	28	29	30	7/1	2	週合計
	1090人	787人	1138人	1297人	1286人	1584人	1782人	8964人
	7月	3	4	5	6	7	8	9
1868人		1871人	2011人	3160人	3234人	3793人	4116人	20053人
10		11	12	13	14	15	16	
	4475人	4403人	5260人					

※新規感染者数（新規自主療養届発行者数を含む）

■ 病床利用率の推移



■ 病床と入院者数の推移



(確保病床はその時点における病床確保フェーズの確保病床)

※病床利用率は、最終的な確保病床に対する現在の入院者数で計算。

(参考)新たなレベル分類と病床確保フェーズとの関係整理表

レベル(L)		状況	病床確保フェーズ(Ph) ※1	レベルアップ基準(案) ※2	レベルダウン基準(案) ※2	具体的対策 ※3
L4	避けたいレベル	一般医療を大きく制限しても、新型コロナへの医療に対応できない。		【L3→L4】 災害特別フェーズでの対応も困難になったとき	—	
L3	対策を強化すべきレベル	一般医療を相当程度制限しなければ新型コロナへの医療対応ができず、医療が必要な人への適切な対応ができなくなる。	「災害特別フェーズ」 最大確保病床2100床+400床 うち重症210床+60床	【L2→L3】 Ph4に引き上げ	【L4→L3】 ①現在の入院者数がピークアウト傾向 ②救急搬送困難事例数が減少傾向	【医療提供体制】 ○一般医療の延期(通知による) ○入院基準をSpO2基準に変更 ○緊急酸素投与センター稼働 ○早期処方指針 ステロイド処方段階 【社会への要請】 ○ワクチン検査パッケージ停止
			Ph 4 最大確保病床 2100床 うち重症210床			【医療提供体制】 ○一般医療の延期(医療機関裁量) 【社会への要請】 ○緊急事態宣言
L2	警戒を強化すべきレベル	一般医療・新型コロナへの医療への負荷が生じているが、病床拡大により医療が必要な患者への医療提供ができている。	Ph 2/3 確保病床1300~1700床 うち重症130~160床	【L1→L2】 Ph2に引き上げ	【L3→L2】 Ph3に引き下げ	【社会への要請】 ○まん延防止等重点措置[Ph3]
L1	維持すべきレベル	一般医療が確保され、新型コロナ医療にも対応可能。	Ph 1 確保病床1000床 うち重症100床	【L0→L1】 Ph1に引き上げ	【L2→L1】 Ph1に引き下げ	
L0	感染者ゼロレベル	新規陽性者ゼロを維持できている。	Ph 0 確保病床120床 うち重症20床		【L1→L0】 Ph0に引き下げ	

※1 病床確保フェーズの引き上げの考え方:入院患者数の増加傾向が継続し、各フェーズの確保病床の85%を超えることが想定される3週間前に上のフェーズに引き上げる。

病床確保フェーズの引き下げの考え方:入院患者数の減少傾向が継続し、仮に再上昇しても3週間の猶予があると想定される場合に下のフェーズに引き下げる。

※2 レベルアップ基準、レベルダウン基準については、上記表記載の基準を原則とするが、その他の要素を含めて総合的に考慮し、決定することとする。

※3 個々の具体的対策を講じる時期については、変異株の特性、新規発生患者・入院者数の状況等を総合的に考慮し、柔軟に対応することとする。

令和4年度についての国の方針（R4.6.17事務連絡）

区分	期間	対象等
ワクチン検査パッケージ・ 対象者全員検査等定着促進事業	令和4年 8月末 まで延長	<ul style="list-style-type: none">・経済再開に向けて、飲食、イベント、旅行等の場面において、ワクチン接種歴や抗原定性検査キットを活用した検査結果の確認を推奨（基本的対処方針）・対象者は、3回目接種未了者、全員検査対象者・原則として抗原定性検査で実施・PCR検査を利用する場合を、「10歳未満の受検」「高齢者等との接触を予定している場合」に限定
感染拡大傾向時の 一般検査事業	令和4年度継続中	<ul style="list-style-type: none">・国予算が繰越され、令和4年度も継続中・<u>レベル2相当以上で、各都道府県が実施を判断（特措法24条9項等に基づく要請として実施）</u>・PCR検査等、抗原定性検査とも実施可



・本県の感染状況はレベル2相当になることから、6月末で終了した一般検査事業について、事業を再開し、8月末まで実施することとしたい。

※**定着促進事業**については、国の方針に沿って8月末まで実施中。

- 1 感染拡大傾向時の一般検査事業（県内在住者）・令和3年12月28日～令和4年6月30日
- 2 ワクチン検査パッケージ・対象者全員検査等定着促進事業（県外在住者も含む）・令和3年12月21日～令和4年8月31日

※検査拠点数 7月12日現在登録数 842か所（休止中を含む）

【検査実績】

（令和4年7月7日 9時現在 速報値）

期間	PCR・抗原定量検査			抗原定性検査			計		
	検査数	陽性数	陽性率	検査数	陽性数	陽性率	検査数	陽性数	陽性率
令和3年度合計	275,267	22,442	8.2%	35,706	1,400	3.9%	310,973	23,842	7.7%
R4 4/1-4/10	19,464	1,820	9.4%	2,104	107	5.1%	21,568	1,927	8.9%
4/11-4/17	20,537	1,411	6.9%	2,207	84	3.8%	22,744	1,495	6.6%
4/18-4/24	20,342	1,126	5.5%	2,380	56	2.4%	22,722	1,182	5.2%
4/25-5/1	26,784	965	3.6%	4,450	51	1.1%	31,234	1,016	3.3%
5/2-5/8	20,878	922	4.4%	4,776	76	1.6%	25,654	998	3.9%
5/9-5/15	20,554	948	4.6%	2,363	57	2.4%	22,917	1,005	4.4%
5/16-5/22	24,278	763	3.1%	2,297	68	3.0%	26,575	831	3.1%
5/23-5/29	41,248	605	1.5%	2,750	45	1.6%	43,998	650	1.5%
5/30-6/5	41,463	391	0.9%	2,370	32	1.4%	43,833	423	1.0%
6/6-6/12	16,393	310	1.9%	2,529	40	1.6%	18,922	350	1.8%
6/13-6/19	19,108	367	1.9%	2,741	47	1.7%	21,849	414	1.9%
6/20-6/26	18,538	447	2.4%	3,127	42	1.3%	21,665	489	2.3%
合計	564,854	32,517	5.8%	69,800	2,105	3.0%	634,654	34,622	5.5%